(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2004-168084
(P2004-168084A)
(43)公開日　平成16年6月17日(2004.6.17)

(51)Int.Cl.[7]	F I		テーマコード（参考）
B62J 9/00	B62J	9/00	H
B62J 11/00	B62J	9/00	G
B62J 23/00	B62J	11/00	G
	B62J	23/00	F

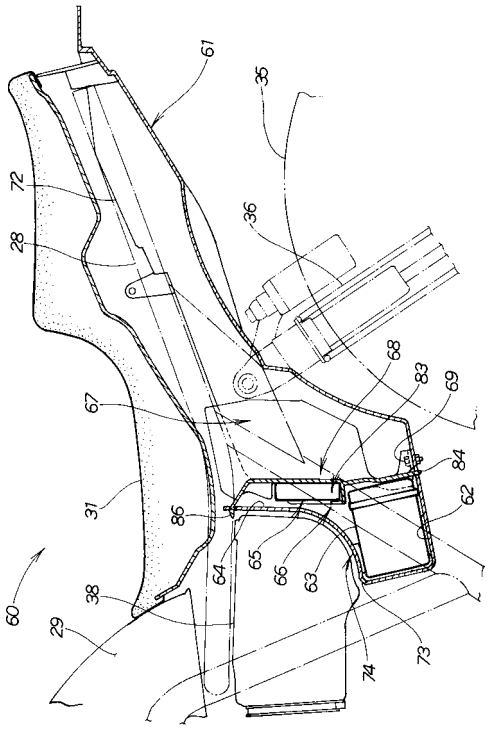
審査請求 未請求　請求項の数 2　ＯＬ　（全 9 頁）

(21)出願番号　特願2002-332952(P2002-332952)
(22)出願日　平成14年11月15日(2002.11.15)

(71)出願人　000005326
本田技研工業株式会社
東京都港区南青山二丁目１番１号
(74)代理人　100067356
弁理士　下田　容一郎
(74)代理人　100094020
弁理士　田宮　寛祉
(72)発明者　福永　博文
埼玉県和光市中央１丁目４番１号　株式会社本田技術研究所内

(54)【発明の名称】自動二輪車の物品収納箱構造

(57)【要約】
【解決手段】車体（車体フレーム）１１の略中央にシート３１を配置し、このシート３１の下部に物品収納箱６１を配置する自動二輪車の物品収納箱構造において、物品収納箱６１にバッテリ６３を収納し、このバッテリ６３の上方に且つ物品収納箱６１の内壁６４に沿って電装品６５を配置し、これらの電装品６５及びバッテリ６３を覆うとともに、電装品６５及びバッテリ６３を収納する部品収納空間（部品収納部）６６と手荷物などの物品を収納する物品収納空間（物品収納部）６７とに仕切るカバー部材６８を物品収納箱６１に付設した
【効果】電装品の収納スペースを個別に設ける必要がないとともに、特別な手段を用いなくとも、電装品に雨水等がかかることがない。この結果、物品収納箱の有効利用を図ることができる。
【選択図】　図７



【特許請求の範囲】
【請求項１】
車体の略中央にシートを配置し、このシートの下部に物品収納箱を配置する自動二輪車の物品収納箱構造において、
この物品収納箱構造は、前記物品収納箱にバッテリを収納し、このバッテリの上方に且つ物品収納箱の内壁に沿って電装品を配置し、これらの電装品及びバッテリを覆うとともに、電装品及びバッテリを収納する部品収納空間と手荷物などの物品を収納する物品収納空間とに仕切るカバー部材を前記物品収納箱に付設したことを特徴とする自動二輪車の物品収納箱構造。
【請求項２】
前記電装品を、前記カバー部材に固定したことを特徴とする請求項１記載の自動二輪車の物品収納箱構造。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、自動二輪車の物品収納箱構造に関する。
【０００２】
【従来の技術】
物品収納箱にバッテリを収納する自動二輪車の物品収納箱構造が知られている（例えば、特許文献１参照。）。
【０００３】
【特許文献１】
特許第２８８３７５１号公報（第５頁、図１）
【０００４】
同公報の図１を再掲し上記技術を説明する。ただし、同公報に記載の符号を新しく振り直すとともに記載の名称も一部変更した。
図１０は特許第２８８３７５１号公報の図１の再掲図である。
自動二輪車の物品収納箱構造１００は、シート１０１の下部に配置した物品収納箱１０２と、この物品収納箱１０２に設けることで手荷物などを収納する荷物収納部１０３と、物品収納箱１０２に設けることでバッテリ１０４を収納するバッテリ収納部１０５と、このバッテリ収納部１０５に取付けたカバー部材１０６と、から構成したものである。
【０００５】
【発明が解決しようとする課題】
しかし、上記の自動二輪車の物品収納箱構造１００では、例えば、制御ユニットなどの電装品を配置する場合には別の収納部を個別に設ける必要があった。個別に収納部を設ければ、バッテリ１０４から離れた位置に電装品を配置しなければならず、ハーネスの引回しが長くなることが多かった。すなわち、ハーネスの引回しを最小限に止めるとともに、物品収納箱１０２を有効に利用したいものである。
【０００６】
また、上記の自動二輪車の物品収納箱構造１００は、物品収納箱１０２のバッテリ収納部１０５にカバー部材１０６を設けたものであるが、このカバー部材１０６を、例えば、物品収納箱を仕切る仕切り部材や他の部品を取付ける取付け部材等に利用できないものかと模索される。
【０００７】
そこで、本発明の目的は、バッテリからのハーネスの引回しを最小限に止めることができ、カバー部材をもっと有効に利用することのできる自動二輪車の物品収納箱構造を提供することにある。
【０００８】
【課題を解決するための手段】
上記目的を達成するために請求項１は、車体の略中央にシートを配置し、このシートの下

部に物品収納箱を配置する自動二輪車の物品収納箱構造において、物品収納箱にバッテリを収納し、このバッテリの上方に且つ物品収納箱の内壁に沿って電装品を配置し、これらの電装品及びバッテリを覆うとともに、電装品及びバッテリを収納する部品収納空間と手荷物などの物品を収納する物品収納空間とに仕切るカバー部材を物品収納箱に付設したことを特徴とする。

【０００９】

例えば、電装品に引回すハーネスの長さを短くできるとともに、物品収納箱を有効利用をすることができるとすれば、好ましいことである。

そこで、物品収納箱にバッテリを収納し、このバッテリの上方に且つ物品収納箱の内壁に沿って電装品を配置し、これらの電装品及びバッテリを覆うとともに、電装品及びバッテリを収納する部品収納空間と手荷物などの物品を収納する物品収納空間とに仕切るカバー部材を物品収納箱に付設した。

【００１０】

すなわち、物品収納箱にバッテリを収納し、このバッテリの上方に且つ物品収納箱の内壁に沿って電装品を配置することで、電装品の収納スペースを個別に設ける必要がないとともに、特別な手段を用いなくとも、電装品に雨水等がかかることがない。この結果、物品収納箱の有効利用を図ることができる。

さらに、バッテリと電装品とを近接して配置することができるので、ハーネスの引回しを配線を短くすることできる。すなわち、ハーネスの引回しによる電圧ロスを最小限に止めることができ、電装品を最適な状態にて駆動することができる。

【００１１】

請求項２は、電装品を、カバー部材に固定したことを特徴とする。

例えば、カバー部材を物品収納箱を仕切る仕切り部材や他の部品を取付ける取付け部材等に利用することは、カバー部材の用途の拡大を図る上で好ましいことである。

そこで、電装品を、カバー部材に固定することで、カバー部材の用途の拡大を図るようにする。この結果、電装品の組付けが容易にすることができるとともに、組立の作業時間の短縮を図ることができる。

【００１２】

【発明の実施の形態】

本発明の実施の形態を添付図に基づいて以下に説明する。なお、図面は符号の向きに見るものとする。

図１は本発明に係る自動二輪車の物品収納箱構造を搭載した自動二輪車の側面図であり、自動二輪車１０は、車体としての車体フレーム１１にヘッドパイプ１２を取付け、ヘッドパイプ１２に操舵可能にフロントフォーク１３を取付け、このフロントフォーク１３のトップブリッジ１４にステアリングハンドル１５を取付け、トップブリッジ１４とボトムブリッジ１６との間の前方にブラケット１７を介してヘッドライト１８及びフロントウインカ１９並びにメータ類２１を取付け、フロントフォーク１３の下部にフロントフェンダ２２及び前輪２３を取付け、ヘッドパイプ１２から車体フレーム１１のメインフレーム２４を後方へ延ばすとともに車体フレーム１１のダウンチューブ２５を斜め下から後方へ延ばし、これらメインフレーム２４とダウンチューブ２５との間にエンジン２６を配置し、メインフレーム２４からシートレール２８を後方へ延ばし、燃料タンク２９及びシート（タンデムシート）３１をこの順に載せ、ダウンチューブ２５からシートレール２８にサブフレーム３２を延ばし、車体フレーム１１の後下部からピボット３３を介してリヤスイングアーム３４を延ばし、このリヤスイングアーム３４の後端に後輪３５を回転自在に取付け、リヤスイングアーム３４の後部と車体フレーム１１との間にリヤクッション３６を渡してなる。

【００１３】

なお、３７はラジエータ、３８はエアクリーナ、３９はスロットルバルブ、４１はシリンダヘッド、４２，４３は排気管、４４は集合管、４５は消音器、４６はドライブチェーン、４７はメインスタンド、４８はリヤフェンダ、４９はライセンスランプ、５１はリヤウ

インカ、５２はリヤカウル、５３はグラブレール、５４はテールライトである。
また、６０は本発明に係る自動二輪車の物品収納箱構造を示し、以下、その詳細を説明する。

【００１４】
図２は本発明に係る自動二輪車の物品収納箱構造の分解斜視図である。
自動二輪車の物品収納箱構造６０は、図１に示す車体（車体フレーム）１１の略中央に配置するシート３１と、このシート３１の下部に配置する物品収納箱６１と、この物品収納箱６１の底６２に収納するバッテリ６３と、このバッテリ６３の上方に且つ物品収納箱６１の内壁６４に沿って配置する電装品６５と、これらの電装品６５及びバッテリ６３を覆うとともに、電装品６５及びバッテリ６３を収納する部品収納空間としての部品収納部６６と手荷物などの物品を収納する物品収納空間としての物品収納部６７とに仕切るカバー部材６８と、このカバー部材６８を物品収納箱６１に止める止めねじ６９と、から構成する物品収納構造である。
なお、電装品６５は、具体的にはハウジング内に回路基板を収納した制御ユニットである。

【００１５】
図３は本発明に係る自動二輪車の物品収納箱構造の物品収納箱の平面図であり、成形時の物品収納箱６１の状態を示す。
物品収納箱６１は、樹脂成形にて形成する部材であり、ボックス状の箱本体７２と、この箱本体７２にヒンジ部７３を介して一体的に形成したフラップ部７４と、からなる。

【００１６】
箱本体７２は、バッテリ６３や電装品６５を収納する先に説明した部品収納部６６と、手荷物などを収納する先に説明した物品収納部６７と、カバー部材６８の下部を差込む差込み孔７５と、カバー部材６８の下部中央を止める取付け孔７６と、折曲げたフラップ部７４を止める嵌合凸部７７，７７と、を形成したものである。
ヒンジ部７３は、箱本体７２及びフラップ部７４よりも薄肉にて形成することで、折曲げ可能に形成した部分である。

【００１７】
図４は本発明に係る自動二輪車の物品収納箱構造の物品収納箱の側面断面図であり、組立時の物品収納箱６１の形態を示す。
フラップ部７４は、ヒンジ部７３から部品収納部６６側に折曲げることで、部品収納部６６の前上部を塞ぐ部材であり、カバー部材６８の上部を止めるため先端に形成した嵌合孔７８，７８と、箱本体７２の嵌合凸部７７，７７（図３参照）に嵌める嵌合凹部７９，７９（図３参照）を備えたものである。
すなわち、二点鎖線で示すフラップ部７４を、ヒンジ部７３から部品収納部６６側に白抜き矢印の如く折曲げ、嵌合凸部７７，７７に嵌合凹部７９，７９を嵌めることで、組立完成時の物品収納箱６１の状態にできることを示す。

【００１８】
図５は本発明に係る自動二輪車の物品収納箱構造のカバー部材の側面図である。
カバー部材６８は、樹脂成形にて形成する部材であり、且つ物品収納箱６１の底６２に対して略垂直に取付ける部材であって、物品収納箱６１の箱本体７２を部品収納部６６と物品収納部６７に仕切るカバー本体８２と、このカバー本体８２に形成することで電装品６５を保持する電装品保持部８３と、カバー本体８２の下部に形成することで差込み孔７５，７５に差込む差込み部８４，８４と、カバー本体８２の下部中央に形成することで止めねじ６９（図２参照）で物品収納箱６１の底６２に止めるための取付けステー部８５と、フラップ部７４の嵌合孔７８，７８に嵌合させる嵌合爪８６，８６と、からなる。なお、８７，８７（一方の８７は不図示）は電装品６５の側面を押える側壁、８８，８８（一方の８８は不図示）は電装品６５の前面を押える前壁、８９は電装品６５の上部を押える押えリブを示す。

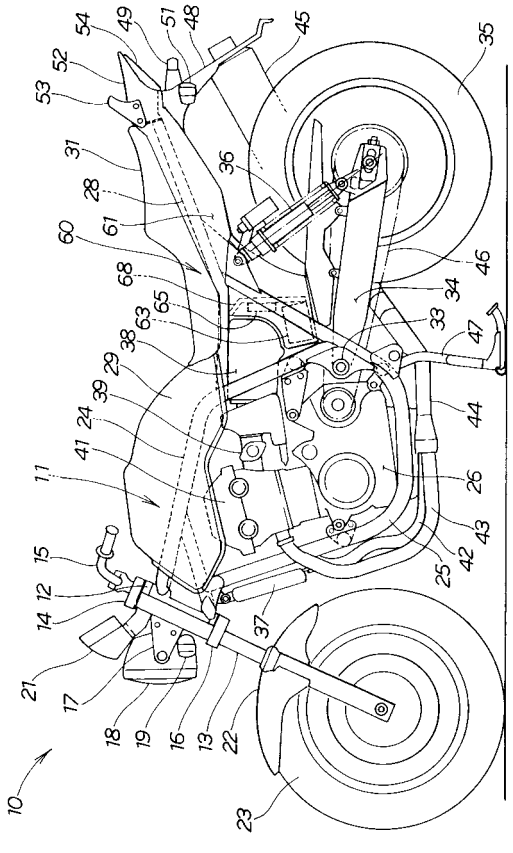
【００１９】

図６は本発明に係る自動二輪車の物品収納箱構造のカバー部材の背面図であり自動二輪車の物品収納箱構造６０（図２参照）は、電装品６５を、カバー部材６８に固定したものであると言える。
例えば、カバー部材を物品収納箱を仕切る仕切り部材や他の部品を取付ける取付け部材等に利用することは、カバー部材の用途の拡大を図る上で好ましいことである。
そこで、電装品６５を、カバー部材６８に固定することで、カバー部材６８の用途の拡大を図るようにする。この結果、電装品６５の組付けが容易にすることができるとともに、組立の作業時間の短縮を図ることができる。
【００２０】
図７は本発明に係る自動二輪車の物品収納箱構造の側面断面図であり、自動二輪車の物品収納箱構造６０は、車体（車体フレーム）１１の略中央にシート３１を配置し、このシート３１の下部に物品収納箱６１を配置する自動二輪車の物品収納箱構造において、物品収納箱６１にバッテリ６３を収納し、このバッテリ６３の上方に且つ物品収納箱６１の内壁６４に沿って電装品６５を配置し、これらの電装品６５及びバッテリ６３を覆うとともに、電装品６５及びバッテリ６３を収納する部品収納空間（部品収納部）６６と手荷物などの物品を収納する物品収納空間（物品収納部）６７とに仕切るカバー部材６８を物品収納箱６１に付設したことを示す。
【００２１】
例えば、電装品に引回すハーネスの長さを短くできるとともに、物品収納箱を有効利用をすることができるとすれば、好ましいことである。
そこで、物品収納箱６１にバッテリ６３を収納し、このバッテリ６３の上方に且つ物品収納箱６１の内壁６４に沿って電装品６５を配置し、これらの電装品６５及びバッテリ６３を覆うとともに、電装品６５及びバッテリ６３を収納する部品収納部６６と手荷物などの物品を収納する物品収納部６７とに仕切るカバー部材６８を物品収納箱６１に付設した。
【００２２】
すなわち、物品収納箱６１にバッテリ６３を収納し、このバッテリ６３の上方に且つ物品収納箱６１の内壁６４に沿って電装品６５を配置することで、電装品６５の収納スペースを個別に設ける必要がないとともに、特別な手段を用いなくとも、電装品６５に雨水等がかかることがない。この結果、物品収納箱６１の有効利用を図ることができる。
【００２３】
さらに、バッテリ６３と電装品６５とを近接して配置することができるので、ハーネス（不図示）の引回しを配線を短くすることできる。すなわち、ハーネスの引回しによる電圧ロスを最小限に止めることができ、電装品６５を最適な状態にて駆動することができる。
なお、バッテリ６３は、バンド若しくは金具等の適宜固定手段で車体フレーム１２（図１参照）側に固定するものとする。
【００２４】
以上に述べた自動二輪車の物品収納箱構造６０の組立手順の一例を、次に説明する。
図８（ａ），（ｂ）は本発明に係る自動二輪車の物品収納箱構造の作用説明図（その１）である。
（ａ）において、バッテリ６３、電装品６５、カバー部材６８及び止めねじ６９を物品収納箱６１の上方若しくは近傍に用意し、バッテリ６３を物品収納箱６１の底６２に矢印▲１▼の如く載置し、バンド若しくは金具等の適宜固定手段でバッテリ６３を車体フレーム１２（図１参照）側に固定する。
次に、カバー部材６８の電装品保持部８３に、矢印▲２▼の如く電装品６５を保持させる。
【００２５】
（ｂ）において、電装品保持部８３に電装品６５を保持済みのカバー部材６８を、物品収納箱６１を矢印▲３▼の如く差入れる。このときに、カバー部材６８の差込み部８４を物品収納箱６１の差込み孔７５に差込むことで、カバー部材６８の下部を仮り固定する。
【００２６】

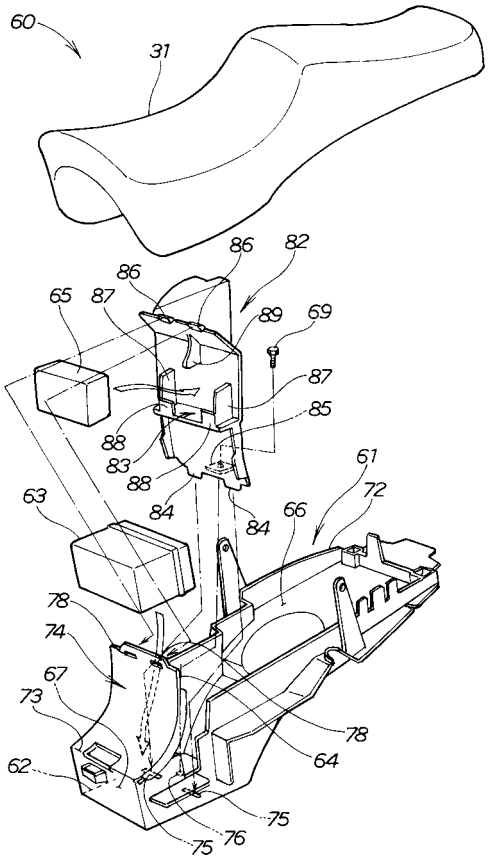
図９（ａ），（ｂ）は本発明に係る自動二輪車の物品収納箱構造の作用説明図（その２）である。
（ａ）において、止めねじ６９で矢印▲４▼の如く物品収納箱６１の底６２にカバー部材６８を止める。さらに、物品収納箱６１の嵌合孔７８にカバー部材６８の嵌合爪８６を矢印▲５▼の如く嵌めることで、カバー部材６８の上部を固定する。
【００２７】
（ｂ）において、バッテリ６３、電装品６５及びカバー部材６８を物品収納箱６１に収納した状態を示す。すなわち、物品収納箱６１にバッテリ６３を収納し、このバッテリ６３の上方に且つ物品収納箱６１の内壁６４に沿って電装品６５を配置し、これらの電装品６５及びバッテリ６３を覆うとともに、電装品６５及びバッテリ６３を収納する部品収納空間（部品収納部）６６と手荷物などの物品を収納する物品収納空間（物品収納部）６７とにカバー部材６８で仕切ったものと言える。
なお、カバー部材６８は物品収納箱６１の底６２に略垂直に取付ける部材であり、電装品６５の取外しが容易に行うことができる。
【００２８】
尚、実施の形態では図７に示すように、カバー部材６８の電装品保持部８３で保持したが、これに限るものではなく、電装品と物品収納箱との間にパッキンをを介在させることで、電装品をカバー部材と物品収納箱との間で挟み込むようにしたものであってもよい。さらに、電装品の上下に同様のパッキンを介在させて、カバー部材に電装品の上下面を押え込んだものであってもよい。
【００２９】
【発明の効果】
本発明は上記構成により次の効果を発揮する。
請求項１では、物品収納箱にバッテリを収納し、このバッテリの上方に且つ物品収納箱の内壁に沿って電装品を配置し、これらの電装品及びバッテリを覆うとともに、電装品及びバッテリを収納する部品収納空間と手荷物などの物品を収納する物品収納空間とに仕切るカバー部材を物品収納箱に付設したので、電装品の収納スペースを個別に設ける必要がないとともに、特別な手段を用いなくとも、電装品に雨水等がかかることがない。この結果、物品収納箱の有効利用を図ることができる。
さらに、バッテリと電装品とを近接して配置することができるので、ハーネスの引回しを配線を短くすることできる。すなわち、ハーネスの引回しによる電圧ロスを最小限に止めることができ、電装品を最適な状態にて駆動することができる。
【００３０】
請求項２では、電装品を、カバー部材に固定したので、カバー部材の用途の拡大を図るようにする。この結果、電装品の組付けが容易にすることができるとともに、組立の作業時間の短縮を図ることができる。
【図面の簡単な説明】
【図１】本発明に係る自動二輪車の物品収納箱構造を搭載した自動二輪車の側面図
【図２】本発明に係る自動二輪車の物品収納箱構造の分解斜視図
【図３】本発明に係る自動二輪車の物品収納箱構造の物品収納箱の平面図
【図４】本発明に係る自動二輪車の物品収納箱構造の物品収納箱の側面断面図
【図５】本発明に係る自動二輪車の物品収納箱構造のカバー部材の側面図
【図６】本発明に係る自動二輪車の物品収納箱構造のカバー部材の背面図
【図７】本発明に係る自動二輪車の物品収納箱構造の側面断面図
【図８】本発明に係る自動二輪車の物品収納箱構造の作用説明図（その１）
【図９】本発明に係る自動二輪車の物品収納箱構造の作用説明図（その２）
【図１０】特許第２８８３７５１号公報の図１の再掲図
【符号の説明】
１０…自動二輪車、１１…車体（車体フレーム）、３１…シート、６０…自動二輪車の物品収納箱構造、６１…物品収納箱、６２…底、６３…バッテリ、６４…内壁、６５…電装

品、６６…部品収納空間（部品収納部）、６７…物品収納空間（物品収納部）、６８…カバー部材。

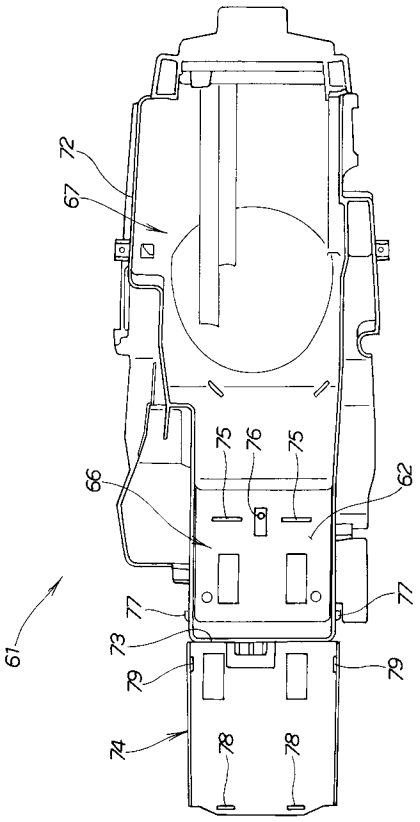
【図１】



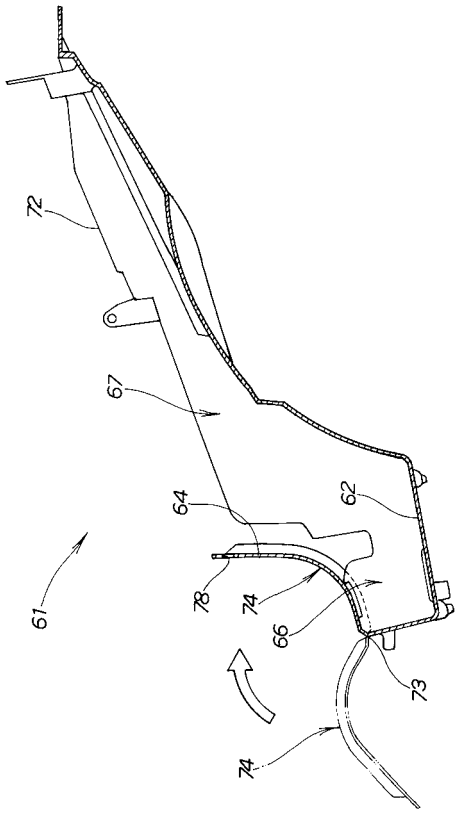
【図２】



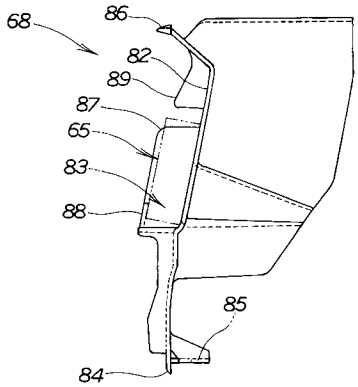
【図３】


72
67
75
76
75
66
62
77
77
73
79
79
74
78
78
61

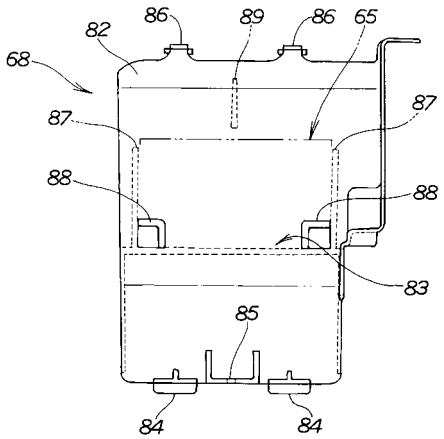
【図４】


72
67
64
62
78
74
66
73
74
61

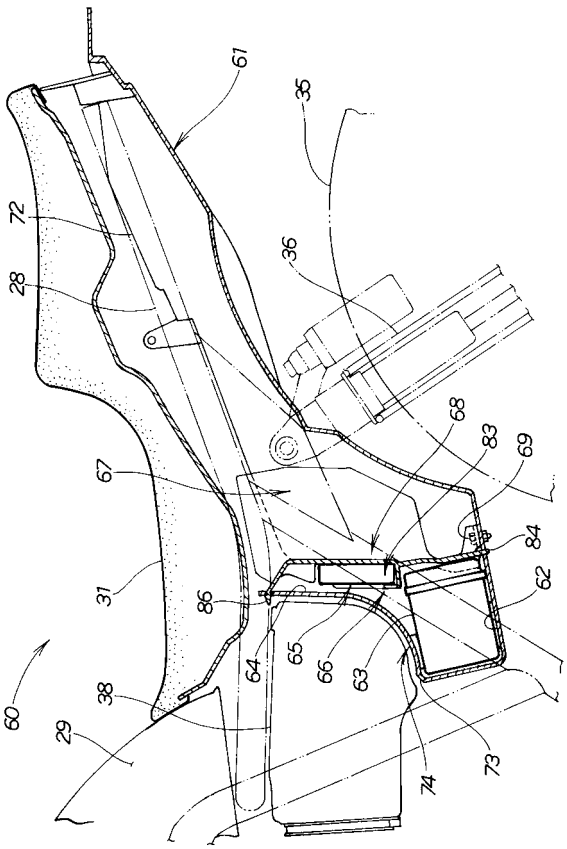
【図５】


68
86
82
89
87
65
83
88
85
84

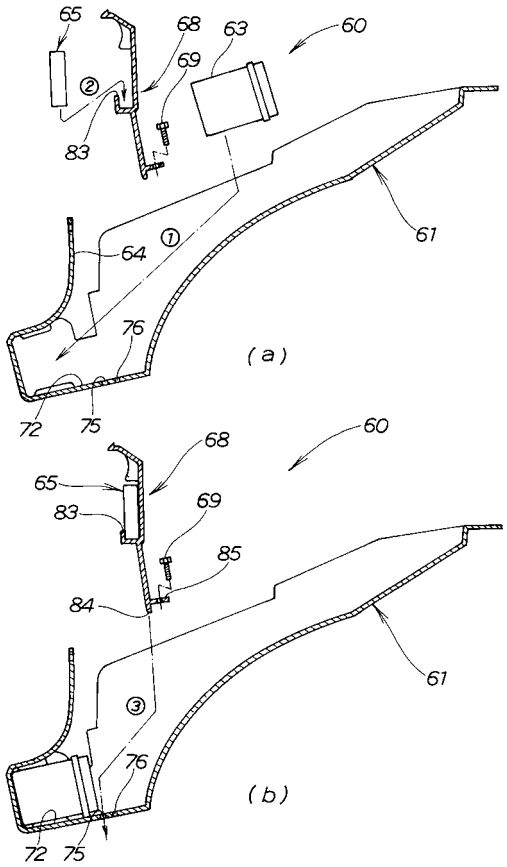
【図６】


68
82
86
89
86
65
87
87
88
88
83
85
84
84

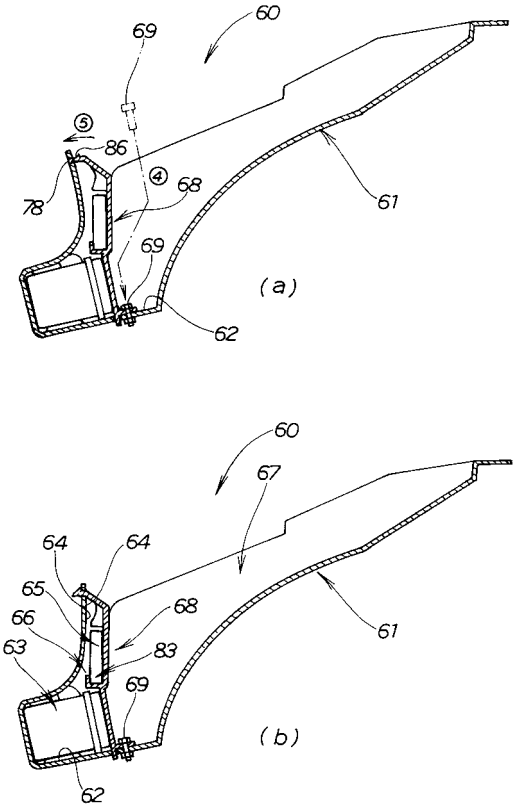
【図７】


61
35
72
36
28
68
83
69
67
84
31
62
86
65
66
63
64
38
60
29
73
74

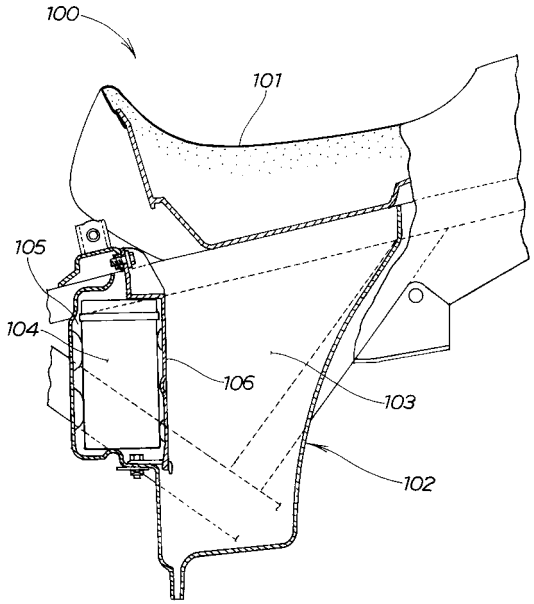
【図８】


65
68
63
60
69
②
83
64
①
61
76
(a)
72
75
68
60
65
69
83
85
84
61
③
76
(b)
72
75

【図９】


60
69
⑤
86
④
68
78
61
69
(a)
62
60
67
64
64
65
68
66
63
83
61
69
(b)
62

【図１０】


100
101
105
104
106
103
102